

建設事業評価表（令和5年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No: 329

1	事業名	公園緑地築造事業	コード	01	08	04	02	02	-
2	担当部課	都市環境部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	③ 公園・緑地の整備						

II. (Do) 建設事業の内容

1	誰のために（受益者）	地域住民及び公園利用者			
2	働きかける相手（対象）	公園施設等			
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	上鏡田公園築造工事	(仮称)春木中学校東広場整備工事	
		工事期間	令和2年度～令和6年度	令和4年度～令和7年度	～
		全体工事概要	公園築造工事 A=5,500㎡	広場築造工事 A=3,900㎡	
		評価年度の実施内容	公園築造工 一式 工作物確認申請 一式 物件調査 1件	用地買収地権者 5名 用地借地地権者 2名 詳細設計業務 一式	
		予定全体事業量[A]	5,500.00 ㎡	3,900.00 ㎡	㎡
		評価年度までの事業量[Σa]	1826.00 ㎡	1,856.40 ㎡	㎡
		事業量の進捗率[Σa/A]	33.2 %	47.6 %	%
		予定全体直接事業費[B]	325,634,000 円	178,194,500 円	円
		評価年度までの直接事業費[Σb]	108,180,720 円	84,802,555 円	円
		事業費の進捗率[Σb/B]	33.2 %	47.6 %	%
評価年度の事業量[a]	0.00 ㎡	140.00 ㎡	㎡		
評価年度の直接事業費[b]	101,910,720 円	79,737,055 円	円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	0 円	569,550 円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	5,065,500 円	決算額	181,647,775 円

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
6 コストの 推移	直接事業費① (②+③+④)	5,065,500	181,647,775	54,862,000
	一般財源②	5,065,500	43,947,775	4,562,000
	起債③	0	124,200,000	40,300,000
	その他④	0	13,500,000	10,000,000
	概算人件費⑤	7,545,849	18,255,468	
	総合計 (①+⑤)	12,611,349	199,903,243	
	町費投入額 (②+③+⑤)	12,611,349	186,403,243	

### Ⅲ. (Check) 建設事業の評価

工事・路線名 (1)		上鏡田公園築造工事		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO	
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO	
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			
工事・路線名 (2)		(仮称) 春木中学校東広場整備工事		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO	
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO	
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			
工事・路線名 (3)				
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO	
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO	
2 把握された問題点、改善可能事項等				
3 建設事業評価コメント				

### Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

建設事業評価表（令和5年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No: 330

1	事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	03	01	-
2	担当部課	都市環境部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do) 建設事業の内容

1	誰のために（受益者）	道路を利用する人			
2	働きかける相手（対象）	道路			
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。			
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	藤坂・涼松2号線	新池・春木台線	牛廻間10号線（地区計画道路4号）	
	工事期間	令和元年度～令和6年度	令和3年度～令和7年度	令和5年度～令和5年度	
	全体工事概要	用地取得地権者 1名 取得面積 105.91㎡ （土地開発公社先行取得）	工事延長 L=400m 用地取得地権者 27名 取得面積 2,830㎡	工事延長 L=52.0m 用地取得地権者 2名 用地取得面積 12.27㎡	
	評価年度の実施内容	償還金支出 A=21.18㎡	用地取得地権者 15名 物件補償地権者 7名 道路詳細設計等委託 L=400m 物件調査 N=2件 不動産鑑定 N=3筆 土地評価 N=1件 境界確定測量 A=3,008㎡	用地取得地権者 2名 物件調査 N=1件 不動産鑑定 N=3筆 分筆登記 N=3筆 道路改良工事 L=52.0m	
	予定全体事業量[A]	106.00 ㎡	400.00 m	52.00 m	
	評価年度までの事業量[Σa]	95.32 ㎡	79.20 m	52.00 m	
	事業量の進捗率[Σa/A]	89.9 %	19.8 %	100.0 %	
	予定全体直接事業費[B]	9,694,242 円	512,741,500 円	8,272,635 円	
	評価年度までの直接事業費[Σb]	8,732,549 円	101,381,720 円	8,272,635 円	
	事業費の進捗率[Σb/B]	90.1 %	19.8 %	100.0 %	
評価年度の事業量[a]	21.18 ㎡	18.00 m	52.00 m		
評価年度の直接事業費[b]	1,928,426 円	68,767,820 円	8,272,635 円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	91,049 円	3,820,434 円	159,089 円		
5	直接事業費計	前年度決算額	199,466,734 円	決算額	115,933,073 円

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
6 コストの 推移	直接事業費① (②+③+④)	199,466,734	115,933,073	202,398,000
	一般財源②	48,429,734	68,460,073	22,098,000
	起債③	140,300,000	34,500,000	143,300,000
	その他④	10,737,000	12,973,000	37,000,000
	概算人件費⑤	16,680,298	24,340,624	
	総合計 (①+⑤)	216,147,032	140,273,697	
	町費投入額 (②+③+⑤)	205,410,032	127,300,697	

## Ⅲ. (Check) 建設事業の評価

工事・路線名 (1)		藤坂・涼松2号線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			
工事・路線名 (2)		新池・春木台線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			
工事・路線名 (3)		牛廻間10号線 (地区計画道路4号)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			

## Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

建設事業評価表（令和5年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No: 331

1	事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	03	01	-
2	担当部課	都市環境部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do) 建設事業の内容

1	誰のために（受益者）	道路を利用する人			
2	働きかける相手（対象）	道路			
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。			
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東蚊谷線	木戸畑・百々線	東蚊谷2号線	
	工事期間	令和5年度～令和6年度	令和3年度～令和7年度	令和3年度～令和5年度	
	全体工事概要	工事延長 L=69.8m 用地取得地権者 3名 用地借地地権者 1名	工事延長 L=131.9m 用地取得地権者 3名	工事延長 L=52m 用地取得地権者 1名	
	評価年度の実施内容	用地取得地権者 N=3名 用地借地地権者 N=1名 境界確定測量 N=81㎡ 不動産鑑定 N=3筆	用地買収地権者 N=3名 不動産鑑定 N=3筆 分筆登記 N=3筆 道路詳細設計委託 L=0.1km 道路改良関連委託 N=1工事 交差点改良工事 N=1箇所	用地買収地権者 N=1名 境界杭設置 N=5筆	
	予定全体事業量[A]	69.80 m	131.90 m	52.00 m	
	評価年度までの事業量[Σa]	24.07 m	54.47 m	52.00 m	
	事業量の進捗率[Σa/A]	34.5 %	41.3 %	100.0 %	
	予定全体直接事業費[B]	14,785,973 円	105,526,405 円	41,967,919 円	
	評価年度までの直接事業費[Σb]	5,098,973 円	43,619,202 円	41,967,919 円	
	事業費の進捗率[Σb/B]	34.5 %	41.3 %	100.0 %	
評価年度の事業量[a]	24.07 m	38.79 m	0.83 m		
評価年度の直接事業費[b]	5,098,973 円	31,036,797 円	667,319 円		
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	211,839 円	800,124 円	803,999 円		
5	直接事業費計	前年度決算額	199,466,734 円	決算額	115,933,073 円

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
6 コストの 推移	直接事業費① (②+③+④)	199,466,734	115,933,073	202,398,000
	一般財源②	48,429,734	68,460,073	22,098,000
	起債③	140,300,000	34,500,000	143,300,000
	その他④	10,737,000	12,973,000	37,000,000
	概算人件費⑤	16,680,298	24,340,624	
	総合計 (①+⑤)	216,147,032	140,273,697	
	町費投入額 (②+③+⑤)	205,410,032	127,300,697	

### Ⅲ. (Check) 建設事業の評価

工事・路線名 (1)		東蚊谷線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			
工事・路線名 (2)		木戸畑・百々線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			
工事・路線名 (3)		東蚊谷2号線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/>	YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。			
3 建設事業評価コメント	特にありません。			

### Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

建設事業評価表（令和5年度）

I. 建設事業の目的体系

事業No: 332

1	事業名	下水道建設事業	会計	下水道事業会計
2	担当部課	都市環境部	下水道課	
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】	
		基本施策	04 良好な住環境をつくる	
		施策の展開方向	② 下水道の整備・維持管理	

II. (Do) 建設事業の内容

1	誰のために（受益者）	下水道認可区域内の地権者及び町民			
2	働きかける相手（対象）	下水道認可区域内の受益地			
3	どのような状態にしたいのか（意図）	公共用水域の水質を改善することにより、町民生活の環境衛生の向上を図ります。			
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業			
	工事期間	平成元年度～令和5年度	～	～	
	全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域562haの公共下水道の整備			
	評価年度の実施内容	整備面積0.02ha 整備延長0.09km 接続件数195件			
	予定全体事業量[A]	562.00 ha			
	評価年度までの事業量[Σa]	502.02 ha			
	事業量の進捗率[Σa/A]	89.3 %	%	%	
	予定全体直接事業費[B]	25,750,540,000 円	円	円	
	評価年度までの直接事業費[Σb]	16,374,459,397 円	円	円	
	事業費の進捗率[Σb/B]	63.6 %	%	%	
	評価年度の事業量[a]	0.02 ha			
	評価年度の直接事業費[b]	1,177,000 円	円	円	
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	58,850,000 円	円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	49,390,000 円	決算額	1,177,000 円

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
6 コストの 推移	直接事業費① (②+③+④)	49,390,000	1,177,000	12,300,000
	一般財源②	0	1,177,000	200,000
	起債③	32,200,000	0	12,100,000
	その他④	17,190,000	0	0
	概算人件費⑤	13,521,110	14,155,456	
	総合計 (①+⑤)	62,911,110	15,332,456	
	町費投入額 (②+③+⑤)	45,721,110	15,332,456	

### Ⅲ. (Check) 建設事業の評価

工事・路線名 (1)		建設事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input checked="" type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等	傍示本地区において公共下水道築造工事を施工しました。		
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされているため、下水道整備を早急に行う必要があります。下水道事業についてコスト縮減意識を持って実施設計を行い、未整備地区を中心に整備を推進します。		
工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			
工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割は薄れていないか？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	<input type="checkbox"/> YES	<input type="checkbox"/> NO
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

### Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	近年の人件費の上昇及び建設資材の高騰により、工事費が高くなっていることから、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減に努めます。
------------------	--